

福岡県の「飲酒運転ゼロへの啓発活動」に参加

～飲酒運転死亡事故から 20 年が経過、決意を新たに～

日本損害保険協会 九州・沖縄支部(委員長：谷口 徹・損害保険ジャパン株式会社 常務執行役員)は、「飲酒運転『ゼロ』」の啓発活動に参加しました。

本活動は、当協会が協賛している「TEAM ZERO FUKUOKA」(※)における活動の一環として、8 月 25 日(火)に福岡市早良区にある福岡タワー周辺エリアにおいて「TEAM ZERO FUKUOKA 8. 25 の誓い」が開催されました。

当日、当支部の職員は今年度作成した「のぼり旗」を持参して参加しました。会場では高校生の書道やコーラス、福岡県警音楽隊のパフォーマンスが行われ、来場者に向けて飲酒運転ゼロへの想いを発信しました。また、来場者それぞれが LED キャンドルの側面に飲酒運転撲滅への誓いを書き込んで「0(ゼロ)」の形に並べたり、新聞紙面や啓発ポスターとして利用する「飲酒運転はしない、させない、許さない。そして、見逃さない」の思いを込めたハンドスタンプ(手形)を作成したりしました。

さらに、福岡県知事、福岡県警察本部長、福岡市長も参加して黙とうを捧げ、福岡タワーに飲酒運転ゼロを誓う「0(ゼロ)」の点灯式を行ったほか、ドローンを使い「20 年前の事故を風化させない」など光のメッセージを灯しました。

福岡県では、2006 年 8 月 25 日に発生した飲酒運転が原因となる交通事故で、3 人の幼い子どもが犠牲になった痛ましい事故を風化させず、飲酒運転撲滅の誓いを新たにするとして毎月 25 日を「飲酒運転撲滅の日」、また、毎年 8 月 25 日から 31 日までを「飲酒運転撲滅週間」と定めています。福岡市東区の“なみきスクエア”において福岡県飲酒運転撲滅県民大会を行う等、今年も各所でさまざまな啓発活動が実施されました。事故発生から 20 年という年月が経過し、事故を知らない世代のドライバーも多くなっていることから、福岡県や福岡県警によって若者への周知や意識改革が進められています。

当支部では今後も行政や関係団体と連携し、飲酒運転ゼロに向けた啓発活動を行っていきます。

※ TEAM ZERO FUKUOKA

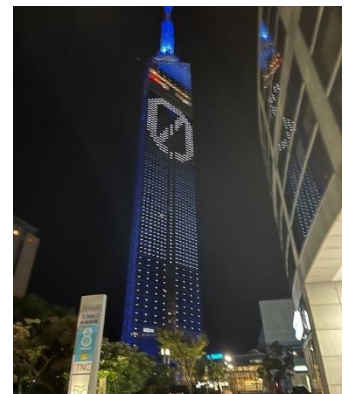
- ・ 2006 年に福岡市の海の中道大橋で発生した飲酒運転により、3 人の幼い子どもが亡くなった事故から 5 年後の 2011 年 8 月 25 日に、福岡県、福岡県警察、福岡市等の行政や企業、団体などが協力し、スタートした飲酒運転撲滅活動。
- ・ 地元の西日本新聞の紙面を通じた呼びかけや啓発イベントの実施など、飲酒運転ゼロ(撲滅)に向けた啓発活動に取り組んでいる。



今年度作成した
「のぼり旗」(右)



「0(ゼロ)」の形に並べられた LED キャンドル



福岡タワーに「0」を点灯